第７回目授業

[連絡事項]

〇7月17日から対面授業を始めます。

〇今後の予定

7月17日 授業および中間試験の説明

7月24日 中間試験

7月31日 授業および中間試験の返却

8月7日(A日程)期末試験

〇課題について、不正行為が行われています。

　見せたほうも、写したほうも、ともに0点とします。

〇今回から、課題の提出期間を短縮していきます。

　期限について、注意してください。

まずは、前回の課題の1８ページ１行目から１６行目までのリーディングの和訳例

を示していきます。

○1８ページ１行目から１６行目までのリーディングの和訳

　アメリカでは、ほとんどの仕事の昇給は、実力と職務業績に基づいている。あなたがより熱心に働き、よりよい仕事をすればするほど、ますますあなたの給料は高くなり、より多くの昇進を受けるようになることを意味します。あなたが何才であるとか、あなたがどのくらいの期間雇われているかは重要ではない。この制度は、「実力主義の昇進」として知られている。アメリカの労働者が、職場で昇進する主な方法です。

　日本で、職場で昇進することは、伝統的に年齢や年功序列、つまり、労働者がどのくらいの期間自分の仕事や地位を持っているかに基づいている。この「年功序列に基づく昇進」は、たとえたとえどんなに多く――あるいはどんなに少なく――会社のために生産していようとも、仕事で長い期間を過ごしてきた労働者に報酬を与える。もちろん、最近の経済的に厳しい時代は、いくつかの変化をもたらしています。ますます多くの日本の会社は、業績に基づいた昇給や昇進に変更してきている。

　両方の制度に賛成と反対の議論がある。しかし、私に意見では、実力主義の昇進のほうがより道理にかなっている。一つには、それは、より多くのお金を稼ぎ、そして昇進する唯一の方法は最善を尽くし、同僚より上手に仕事をすることであるので、労働者により熱心に仕事をするように奨励する。そのような制度はまた、競争の場を公平にする。すべての人が、年齢、性別、肌の色や宗教に関係なく、性交するための平等な機会を持つ。

今回は、1８ページ１７行目から２５行目までのリーディングと1９ページから２０ページまでの練習問題まで進みます。

[課題]

「下の注を参考にして1８ページ１７行目から２５行目までのリーディングの和訳と1９ページから２０ページまでの練習問題の解答、レポート機能を使って添付した解答欄を６月23日までに提出しなさい。」

(注)

18行目quality over quantity「量より質」

18行目apply A to B「AをBに適用する」

19行目preferable to ~「～に好ましい」

以上